

# 研究主題 山口から体育維新の風を・・・ 「楽しい体育」から『もっと楽しい体育』へ ～ 動きと学びを確かに高める体育学習 ～

## I 研究主題について

平成25年(2013年)の中・四国小学校体育研究大会山口大会に向けて、平成21年(2009年)に会場校、大会主題概要、各支部の研究領域が決定した。翌年の平成22年(2010年)には、研究主題(上記)が決定し、これに基づいた大会会場校並びに各支部の研究が3年次を迎えた。

年次を重ねる毎に、山口県の体育学習が、学ばせるべきものをしっかりと学ばせ、子どもの動きや学びが確実に高まり、子どもたちが心から楽しさを実感できるような『もっと楽しい体育』に近づいている手ごたえを感じている。

そこで、山口大会の前年度にあたる今年、今までの研究成果を確かめ、運営面の諸課題を探り、実り多い山口大会に向けて、プレ大会を開催した。

この研究主題に基づき、会場校からは、12の公開授業、各支部からは、11領域の提案発表を行った。また、今まで指定校訪問で研究についてご指導いただいた国立教育政策研究所の2名の先生方をお招きし、主題解明に向けての講話をいただいた。



## II 第51回中・四国小学校体育研究大会山口大会プレ大会

- (1) 日時 平成24年10月19日(金) 9:00～16:30
- (2) 会場 山口市立大内南小学校、山口市立大内小学校
- (3) 講話 **【運動領域】** 国立教育政策研究所 教育課程調査官  
(文部科学省 教科調査官) 白旗和也 先生  
**【保健領域】** 国立教育政策研究所 教育課程調査官  
(文部科学省 教科調査官) 森 良一 先生
- (4) 参加者 大内南小学校教職員、大内小学校教職員、提案発表者、指導助言者、大会実行委員  
各支部研究部員、山口支部体育主任、山口支部研修主任、防府支部体育主任、一般参加者  
**参加者数 340名**
- (5) 日程

9:00	9:25	10:35	11:20	12:45	14:00	15:20
9:25	10:10	11:20	12:45	13:45	15:00	16:30
大内南小・大内小			大 内 南 小			
受	公	公	移	授	発	講
付	開	開	動	業	表	話
	授	授	食	研	分	
	業	業		究	科	
	①	②		会	会	

- (6) 公開授業・授業研究会

### 【山口市立大内南小学校】

	学年	領 域	単 元 名	授業会場	授業者	指導助言者
公開 授業 ①	1年	走・跳の運動遊び	ジャンケン おたから ゲットだぜ!	体育館	藤井恵美子	山本 純也(周防大島町教育委員会)
	4年	ゲーム	作戦使って チャレンジフラッグフットボール!	運動場	山邊 文洋	田原 一男(萩市 福川小)
	6年	陸上運動	リズムに乗って走り越せ!(ハードル走)	運動場	岡崎健太郎	重岡 良典(和木町 和木小)
公開 授業 ②	2年	表現リズム遊び	なりきってGO!00の国へ	体育館	久保 孝之	田中 善人(岩国市 灘小)
	3年	保 健	めざせ!けんこうマスター☆	3年1組	佐藤 光子	西川 孝文(山口県教育委員会)
	5年	ボール運動	スペース生かしてゴールを目指せ!ラン・ラン・サッカー	運動場	服部 寛司	田中 敬二(宇部市 恩田小)

### 【山口市立大内小学校】

	学年	領 域	単 元 名	授業会場	授業者	指導助言者
公開 授業 ①	1年	体づくり運動	用具を操作する運動遊び	運動場	池永亜由美	前川 孝(周南市 勝間小)
	3年	保 健	毎日の生活と健康	3年2組	原田 容子	濱本 昌明(山口市 平川小)
	5年	ボール運動	サッカー	体育館	有田 敏広	岡野富司雄(山口市教育委員会)
公開 授業 ②	4年	ゲーム	フラッグフットボール	運動場	河村 貴之	重岡 優文(山口市 小郡南小)
	6年	器械運動	跳び箱運動	体育館	中重 利紀	藤本 康徳(下関市 一の宮小)
	6年	保 健	病気の予防	6年3組	西村 史代	清角 剛(萩市 明倫小)

(7) 発表分科会

No.	分科会	分科会テーマ	提案発表者	指導助言者	司会者
1	体づくり運動 (低・中学年)	運動との多様な出会いから、体を動かす心地よさや必要性を感じ取り、共に運動の行い方を工夫しながら、いろいろな動きに取り組む楽しさを膨らませる子どもを育てる。	紀村 修一 (周南市 徳山小)	前川 孝 (周南市 勝間小)	田中 大輔 (光市 附属光小)
2	体づくり運動 (高学年)	遊びを通して自他の体や動きに着目し、いろいろな動きや工夫した運動に取り組みながら体力を高める楽しさを膨らませる子どもを育てる。	加藤 剛 (光市 室積小)	西川 孝文 (山口県教育委員会)	山田 浩史 (光市 光井小)
3	器械・器具を使った運動遊び (低学年)	友だちと仲良く遊ぶためのきまりを見つけ、両手支持や着地のある跳び箱遊びに挑戦しながら、いろいろな遊び方で思いきり遊べるようになる楽しさを膨らませる子どもを育てる。	井村 晃治 (防府市 牟礼南小)	田中 敬二 (宇部市 恩田小)	田村 武士 (防府市 牟礼小)
4	器械運動 (中・高学年)	基本的な回転技を安定してできるようにし、お互いに動きのポイントを見つけ合いながら 新しい技に挑戦し続ける楽しさを膨らませる子どもを育てる。	織田 英則 (山口市 大殿小)	藤本 康徳 (下関市 一の宮小)	加来 文慶 (山口市 鑄銭司小)
5	走・跳の運動 (低・中学年)	きまりを守って仲良く競争したり遊び方を工夫したりしていろいろな走り方をし、友達と競走する楽しさを膨らませる子どもを育てる。	小松 智弘 (柳井市 柳井小)	山本 純也 (周防大島町教育委員会)	國宗 司 (柳井市 伊陸小)
6	陸上運動 (高学年)	自分の課題に合った練習の場を選び、リズムカルなハードリングを身につけながら、競い合ったり、より速く走り越したりする楽しさを膨らませる子どもを育てる。	梶田 勝彦 (岩国市 美和東小)	重岡 良典 (和木町 和木小)	沼田 智治 (岩国市 高森小)
7	ゲーム (低・中学年)	キャッチアンドパスでボールをつなぎ、攻め方を工夫しながら、競い合う楽しさを膨らませる子どもを育てる。	菊川 和彦 (山口市 大内小)	重岡 優文 (山口市 小郡南小)	吉山 茂樹 (山口市 島地小)
8	ボール運動 (高学年)	シュートにつながるいろいろな動き方を仲間と考え、攻守を切り替えるすばやい動きを高めながら、攻防する楽しさを膨らませる子どもを育てる。	楫間 茂樹 (山口市 小鯖小)	岡野富司雄 (山口市教育委員会)	中田 徹 (山口市 嘉年小)
9	水 泳	友だちと協力して浮きかたや進みかたのコツを見つけあいながら、力の抜けた浮きの姿勢を身につけ、長く浮いたり泳いだりできるようになる楽しさを膨らませる子どもを育てる。	田中 出穂 (萩市 椿東小)	田原 一男 (萩市 福川小)	村井 裕紀 (阿武町 阿武小)
10	表現運動	友だちや題材と楽しく関わり、動物の特徴をとらえた全身の動きで踊りながら、なりきって踊る楽しさを膨らませる子どもを育てる。	深井 健一 (山陽小野田市 赤崎小)	田中 善人 (岩国市 灘小)	正木 賢 (山陽小野田市 小野田小)
11	保 健	病気の予防に関する知識を習得・活用し、様々な人とのかかわりの中で実践しながら、自己の変容を実感する子どもを育てる。	森山 義紀 (下関市 西山小)	濱本 昌明 (山口市 平川小)	三谷 禎 (下関市 向山小)

中・四国小学校体育研究大会 山口プレ大会  
講話（運動領域）の記録

「楽しさを保証する授業づくり」

講師：文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課  
白旗 和也 教科調査官



○ 楽しさの質の変容について

子どもの発達段階によって楽しさの質は変わっていく。発達段階に応じた楽しさを経験させていかなければならない。

○ 体育の授業の根幹について

体育の授業は、体育の授業研究以前に学級経営が重要な要素を担っている。体育の授業内容の充実を図りたいと思えば、学級経営の改善に力を注がなければならない。また、子どもの発達段階に応じた授業マネジメントも要求される。

○ スポーツ基本法の基本理念について

いつでも、どこでも、誰でもが運動にかかわることができる世の中、社会をつくっていくことが意図されている。このことは、学習指導要領における「豊かなスポーツライフを実現する」とことと同様である。学習指導要領の趣旨を反映して法律ができた。年齢が上がるにつれて、運動離れが進む中、高等学校を卒業しても運動し続けられる人を育成するために、小学校段階で何を身に付けさせておかなければならないかについて考えられた。運動に親しみ続けるには、運動とのよい関係（楽しさ）がその推進力になる。

小学校教諭はその6～7割が女性である。女性教諭自身が自分が受けた体育の授業で楽しさを経験してきているかどうか。まずは、運動の楽しさを経験していない教諭が各種運動領域の楽しさをしっかりと味わうことが肝心である。

○ 体育の時間と休み時間との違いについて

体育の時間は、すべての子どもに意図的、計画的に指導内容を定着させなければならない。楽しさのとらえには2通りある、小学校低学年では「運動自体を楽しく行うこと」、高学年では「運動することをおして、楽しさや喜びを味わうこと」が大切になる。楽しさの広がりには「体を動かす」「うまくなる」「工夫する」「考える」「分かる」「協力する」などがある。楽しく行うための工夫が、習得のための思考力・判断力の育成につながり、多様な動きの獲得が技能の習得へとつながっていく。低学年では「基本的な動きに幅広く取り組む楽しさ」を高学年では「領域の特性や魅力に触れる楽しさ」を味わわせていかなければならない。

○ 楽しく学習（運動）をする重要性について

脳科学の研究によると、つまらない情報は脳の片隅に追いやられるが、おもしろい、楽しいと感じた情報はダイナミック・センターコアに運ばれ、情報の再利用がなされて、意欲を喚起すると言われている。

○ 楽しさの変容と意欲との関係について

動くことの楽しさは、体が自由になることである。それを考えると、子どもは、まずは、できそうなことからスタートする。しかし、続けていると飽きてくる。そこから、工夫や広がりを探っていくようになる。さらに、「もっとうまくなるかな」という高まりを求めていくようになる。この辺りから、どのようにしたらできるようになるのか、という課題解決型の取り組みになっていく。最終的には、意欲的な実践から継続的な実践へとつなげていきたい。



○ 有能感を具体化するについて

有能感とは「運動が上手にできる自信」「練習すればできる自信」「仲間から受け入れられる自信」である。これら3点の運動有能感尺度が高いほど、愛好的態度が高くなる。これを考えると、教材研究の段階で、3点の有能感が高くなるような教材の工夫・評価（助言）・グルーピングをしていけば、子どもの運動に対する意欲の向上を図ることができる。

例：プレボール

4人グループでレシーブ・トス・スパイクの3つの動作を役割としてもたせたところ、子どもたちの有能感が満たされなかった（役割が一つ足りないため）。そこで、4つの役割（一人一役）をもたせたところ、子どもの意欲の向上が図られた（有能感が満たされた）。

○ 指導案における言葉の使い方について

以前は、「○○をかけさせる」「○○と励まし合わせる」「○○を言わせる」等という表現が使われていたが、これらはすべて教師目線の言葉の使い方である。昭和52年からは「子どもが○○できるようにする」という子ども目線に立つことが意識付けられてきた。子どもの実態に合った支援を仕組んでいかなければならない。一見よい授業に見えるが、実は子どもが教師に合わせている授業が中には見られることがある。

○ 学習指導要領の趣旨を実現する授業づくりについて

学習指導要領の内容をもとに2年間を見通した指導計画を立てていかなければならない。2年間を見通した計画を立てておくことで、子どもの学びが担任によってぶれることを最小限に抑えることができる。

○ 小学校教師用体育指導資料「まるわかりハンドブック」の活用について

指導要領解説の内容から、授業がイメージできるようにするためにつくられた。「体育科における新学習指導要領改訂の要点」「発達の段階を踏まえた指導のポイント」「各領域の授業づくりの視点と留意点、指導内容」が書かれている。

中・四国小学校体育研究大会 山口プレ大会  
講話（保健領域）の記録



「子どもが夢中になる、もっと楽しい保健の授業」

講師：文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課  
森 良一 教科調査官

「子どもが夢中になる、もっと楽しい保健の授業」の3つのポイントについて話していただいた。

◆ポイント① 発問の工夫

◎ 子どもや学級全体に思考・判断が誘発される発問

- ・よい発問の条件は、意外性、具体性、検証可能性、予測可能性、発展性など。それらを踏まえつつ、発問の中に知識を含ませ、選択肢を設けるなどして思考の対象を限定し、明確にすることが大切である。

(実践例) 育ちゆくからだとわたし



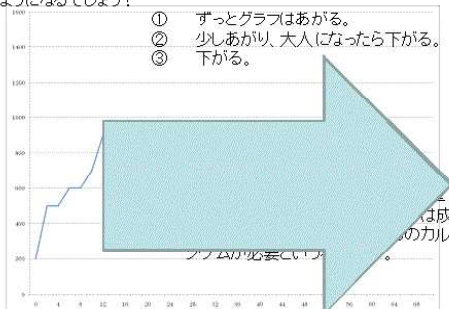
「成長するとは骨が長く太くなることなんだ」ということを理解させるためにX線写真を提示する。その際、ただ提示するのではなく、年齢を隠し、若い順に並べようと発問し、子どもたちに考えさせるとよい。



また、骨の成長にはカルシウムが必要であることを伝える際、まず給食の写真を提示する。毎日出るものが何かを考えさせ、「牛乳がなぜ毎日でるのか」という発問をし、カルシウムが必要なことを理解させるとよい。

Q. みなさんの体に今まで必要だったカルシウムの量はグラフのようになっています。さて、これからグラフは次の4つのうち、どのようになるでしょう?

- ① ずっとグラフはあがる。
- ② 少しあがり、大人になったら下がる。
- ③ 下がる。



グラフを提示する際にもただ提示するのではなく、グラフの一部を隠して提示し、どのように変化していくのかを選択させるとよい。

この場合、体に必要なカルシウム量の正解は②である。カルシウムの必要量は14歳まで増え続けるため、成長期には大人よりもたくさんのカルシウムが必要ということをより意識づけることができる。

**◆ポイント② 「知識を活用する学習活動」の導入及び指導方法の工夫**

**◎知識を活用する学習活動**

- ・健康な生活について、教科書や資料などを基に、課題や解決の方法を見付けたり選んだりする学習活動
- ・健康な生活について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりする学習活動

**◎知識を活用する学習活動の工夫**

- ・指導に当たっては、事例などを用いたディスカッション、ブレインストーミング、心肺蘇生法などの実習、実験、課題学習などを取り入れること、また、必要に応じて・・・など多様な指導方法の工夫を行うよう配慮する。

(実践例)

○「意見を分類し、グループの課題を選択する活動」

- ・元気な生活と元気でない生活の2枚のイラストを比較して、元気でない子の問題点や、元気に生活するために気を付けることについて話し合う。また、2枚のイラストを参考に、自分の生活を振り返り、自分の生活における課題について話し合う。  
意見が出たら、グループや学級全体で仲間分けし、食事、運動、休養及び睡眠、その他に分ける。これらの中から自分たちの生活にかかわる課題を選択し、グループごとに作戦を考える。

○「それぞれの作戦の共通点や違いを見付ける活動」

- ・グループで考えた作戦を、学級全体で発表し合い、それぞれの作戦のよい点やアドバイスなどのやりとりをする。また、自分たちの作戦との共通点や違いについて話し合う。共通点を見付ける際に、例えば、「ごはんをおいしく食べられるとき」であれば、他の二つとどんなかわりがあるか考えられるようにワークシートを工夫する。その結果、「ごはんをおいしく食べるため」には、「運動をしておなかをすかせる」「早起きをして運動する」など、自分たちの課題を解決するためには、他のグループの発表が参考になることがわかり、話し合いを活性化することができる。

○「学習したことを自分の生活に当てはめて活用する活動」

- ・最後に、学習したことを自分の生活と比較したり、身近な事例に当てはめたりするなどの活動を通して、元気な生活を実現するための一日の生活の仕方について理解を深めるようにする。

**◆ポイント③ 学習カードの工夫**

**◎観察の視点を明確にする**

- ・観察による評価を行う際、学習課題について既習の内容や生活経験等と比べている、学習内容との関係を見付けているなど、設定した評価規準に基づいて観察の視点を明確にしておくことが必要である。

**◎ワークシートの項立てを工夫する**

- ・適切に子どもの姿が現れるよう、思考の過程が見えるような項立てを工夫をしたワークシートの作成が必要である。例えば、学習したことと自分の生活を記入できる欄を設け、比較したことを書けるようにしたり、事例を設定し、学習したことをもとにアドバイスを書けるようにしたりすることが考えられる。その際、生徒が自分の考えをまとめ、ワークシート等に記入する時間を十分に確保することも大切である。

# 中・四国小学校体育研究大会 山口プレ大会 アンケート

2012. 10. 19

## (1) 公開授業・授業研究会

### 【主に大内南小に関する記述】

- ・1年生の走・跳の運動遊びでは、工夫されたコースで子どもたちが夢中で遊ぶ姿が見られた。ルールが工夫が見えるようにすると、もっとよかったと思う。(大内南・1年走跳の運動遊び)
- ・1年生の「ジャンケンおたからゲットだぜ！」はコースや運動量などよく考えられていて、子どもたちが生き生きと活動していた。大変参考になった。(大内南・1年走跳の運動遊び)
- ・楽しさあふれるゲームの中に様々な動きが体験できるよう、そして速く動くためのゲームの工夫の中で、子どもたちは多くの動きや体の使い方を学んでいた。大変勉強になった。(大内南・1年走跳の運動遊び)
- ・1年生の授業では子どもたちの意欲を言葉かけなどでうまく引き出していたと思う。子どもたちはずっと笑顔で楽しそうに活動していた。しかし、振り返りの時間をしっかりとり、上手にできたコツや友だちのよさをみんなで共有していたのでよかったと思う。(大内南・1年走跳の運動遊び)
- ・ゆれる・ねじるなど様々な動きがあつて、見ている私たちも楽しませてもらった。音楽の速さを変えると工夫がとても驚いた。
- ・体育1時間の中で運動する(遊ぶ)時間が十分に確保されている内容で大変参考になった。担任の先生の温かい声かけや励ましが学級風土をつくっているなど感じた。授業研究会は、意見が多数出て充実した内容で、自身のこれからの授業づくりに生かしたいと思う。(大内南・1年走跳の運動遊び、2年表現)
- ・今日までの準備、大変お疲れ様でした。ルールを守ることでみんなが楽しめること、意欲を持たせ持続させること、ゆっくり優しい声かけ、先生も座って話すこと、みんなが発表者に注目できること、ボーナスポイント、子どもたちを見てほめる視点などなど、今後参考にさせてもらいたいところばかりだった。よく考えられた場作りにより子どもたちに十分な運動量を与え、運動技能の個人差がさほど見られず、結果的に0～2点しか取れない班も運動を楽しめていたはずである。見に来て良かったと思う。素敵な授業をありがとうございました。(大内南・1年走跳の運動遊び、2年表現)
- ・どちらの授業も学習規律が保たれ、活動的でありながら落ち着いた様子で授業が進んでいたように思った。1年生の授業では、あちらこちらで「できた」「見て見て」の声が聞かれ、子どもたちが生き生きと活動する姿が、4年生の授業では額をつき合わせて真剣に作戦を練っている姿が印象的だった。(大内南・1年走跳の運動遊び、4年フックフット)
- ・2年生の自然な表情が見られよかった。楽しさをさらに深めるための協議のよい題材となっていた。話し合い(授業研究会)も少しずつの深まりがあり、時間が足りないほどだった。(大内南・2年表現)
- ・どちらの授業も十分に運動量があり、言語活動へ結びつけられた活動も工夫されていて、とても勉強になった。2年生の手をつないでぐるぐる回る動きの時、引っぱり回されて転ぶ児童がいた。2人の力の入れ方などで起こりうることだと思った。学習の始まりに「相手が転ばないように回ってあげようね。」などの注意があると安全だと思った。大変たくさんのお話を学ばせていただいた。ありがとうございました。(大内南・2年表現、4年フックフット)
- ・運動量が多く、短時間で作戦の話合いがされていることがとても参考になった。(大内南・2年表現、4年フックフット)
- ・準備運動として音楽を使って、子どもたちだけで進めていけるのは運動量もあり、主運動につながるものとなるので、ぜひ参考にしたいと思った。(大内南・2年表現、4年フックフット)
- ・子どもたちが短い時間で作戦を決め、意欲的に活動していた。準備運動が局を短く区切っていろいろな運動を取り入れていたのはよかった。教師が子どもの動きに目を配り、子どものいい動きには、すぐ声をかけていたのがよかった。(大内南・2年表現、4年フックフット)
- ・3年生なのに、児童がとても落ち着いていたのが印象的だった。(大内南・3年保健)
- ・子どもたちが考えた作戦が成功したり失敗したりする中で、学びの高まりがあったと思う。(大内南・4年フックフット)
- ・作戦を立て、自分の役割を果たす喜びの顔を見ることができた。子ども一人ひとりに役割があり、自主的に動く姿が印象的だった。(大内南・4年フックフット)
- ・豊富な運動量、多彩な思考。本当に勉強になった。(大内南・4年フックフット)
- ・掲示を工夫されていたのが印象的だった。(作戦やパス、ふり返りやルールなど)その他、道具などの準備もしっかりされていて、休み時間中にこんなに準備ができるのかとびっくりした。試合中、失敗する児童がいても、同じチームの児童が責めるようなことを全く言わなかったのも、普段からの学級経営をうまくなさっているのだと思った。(大内南・4年フックフット)

- ・子どもたちの動きを見て驚いた。作戦の動きが何回も決まっていた子どもたちがそのことに喜びを感じていることがよく伝わってきた。大会があるようなので頑張ってください。(大内南・4年フット)
- ・フットボールの授業は「作戦」に視点をあてた提案性のある授業だった。動きが一つ一つ途切れるので作戦を立てるには有効な教材ですが、逆に子どもの意欲が継続しにくいのでは？と思っていたが、作戦を立て達成させることの喜びやうまくいかなかったときに工夫する喜びを子どもたちが感じているのがすばらしいと思った。作戦や動きを学んだ後で、ラグビーやサッカーにつなげるとおもしろいだろうなと感じた。(大内南・4年フット)
- ・フットボールは未経験で大変参考になった。(大内南・4年フット)
- ・最初のウォーミングアップがおもしろかった。作戦カードもよく作っていたし、中にすばらしい動きをしている児童もいた。(大内南・4年フット)
- ・フットボールは初めてやり方を知った。クラス全員がルールを理解してゲームを楽しめるようになるのは大変かもしれないが、やってみてみたいと思った。授業研究会で先生のお話を聞いて、攻撃の方に重きをおくようにしたり、ランプレイを中心にしたりと細かなところまで意図されており勉強になった。ありがとうございました。(大内南・4年フット)
- ・児童はよく考えたり作戦を練って打ち合わせて生き生きと活動していた。作戦が成功し得点する喜びを感じ、楽しさを感じ取っていた。考えて成功する楽しさ、質の高い運動・スポーツの楽しさを感じ取っていた。(大内南・4年フット)
- ・フットボールの授業、子どもたちが主体的に活動していて、とても生き生きと楽しそうだった。担任の先生の準備(場の設定、カードの工夫など)がきめ細かく、また一人ひとりの子どものよさをしっかり把握し、声かけ・評価しているのがすばらしいと感じた。子どもたちがどんな動きをすればいいか、見通しをきちんと持っているので作戦を全員がしっかり把握してそれを実行しようと思えて嬉しかった。(大内南・4年フット)
- ・場の設定、児童の運動力の多さ、とてもすばらしかった。(大内南・4年フット、5年サッカー)
- ・はじめの基礎技能を高める動きでは、児童が一人ひとり音楽に合わせてしっかりと動くことができた。場の工夫がとても工夫されていた。(大内南・4年フット、5年サッカー)
- ・とてもよく鍛えられていた。作戦が成功した喜びよりも得点をして勝った喜びの方が子どもにとって楽しさを感じられるのではないかと。どの子どもたちも明るく元気に活動していた姿に好感が持てた。(大内南・4年フット、5年サッカー)
- ・提案性の高いコートやルールの設定だったと思う。得点の機会を増やせるコートだったが、ゲームに参加できない子が出るコートでもあると思う。(大内南・5年サッカー)
- ・自製のゴールなど、サッカーの楽しさにふれる工夫があり本校でも参考にしたい。(大内南・5年サッカー)
- ・サッカーの授業は一連の流れの中で、動きの判断をしてプレイしないといけないので、どうしても技能差が出やすいのでグリッドで仕切る工夫はあったものの苦手な子がいかに活躍できるかの提案を期待している。(大内南・5年サッカー)
- ・子どもたちがより楽しいと感じる体育を目指して一生懸命取り組まれていることを感じた。ラン・ランサッカーでは、みんなの参加・高まりを目指して様々な工夫をされていると感じ、まじめな取り組みに敬服した。ただ受指導にもあったように、それぞれの持ち味(上手な子も積極的にかかわることができる)を生かせるよう更に工夫しステップアップしてほしいと思う。(大内南・5年サッカー)
- ・子どもたちがとても生き生きと活動していることが、大変印象に残った。また、先生の指示にきちんと従い、話をよく聞くことができていた。普段の学級経営がよいのだと思う。子どもたちが運動をする中で、「どうしてその運動をしないといけないのか」「こんなふうになりたい」という目的意識がもっとはっきりさせる工夫など、私も考えていきたい。(大内南・1年走跳の運動遊び、5年サッカー)
- ・事前の準備、そして本時にいたるまで積み重ねてこられた結果としての児童の姿、とてもすばらしかった。ワークシートや掲示物が要項についているとうれしい。(大内南・5年サッカー、6年ハードル走)
- ・始まる前から準備がばっちりできていてびっくりした。できれば準備から片付けまでを45分以内におさめた授業を見てみたかった。ハードルを置く場所にポイントが打ってあり、分かりやすかった。しかし準備するのに時間がかかりそうだと感じた。(大内南・5年サッカー、6年ハードル走)
- ・どちらの授業も子ども同士の話し合いの時間がきちんと確保されており、学び合いの姿が見られた。手作りのハードルやサッカーゴールなど、先生方の温かさが物を通じて伝わってきた。お疲れ様でした。(大内南・5年サッカー、6年ハードル走)
- ・ハードル走では、自分が実践したことのない手だてがたくさんあり、すぐ持ち帰って実践してみたいと思った。(大内南・6年ハードル走)
- ・6年のハードル走では、子どもたち一人ひとりが課題を持って友だちと関わり合いながら学び合う姿を見せていただいた。友だちとのかかわりの質を高めることと、個の技術・技能を高めることこの2つの大きなねらいに迫るために、たくさんの手立て、場の工夫、課題のたせ方等があった。その後の指導講



- 話でも、具体的なご指導をいただきました。大変参考になった。(大内南・6年ハードル走)
- ・すばらしい準備と実践に感激した。ハードリングにこだわることと、リズムやスピードにこだわることのバランスが難しいなあと思った。ハードルはやっぱり「リズムよく走り越す」ことが大切だと改めて思った。(大内南・6年ハードル走)
  - ・ハードル走は場の工夫がとてもされており、子どもたちにとっても自らの課題を考え高めていくことができやすいようになっていたと思う。(大内南・6年ハードル走)
  - ・教材の工夫がすばらしかった。一人ひとりに役割があったので、子どもの空白時間がなかった。さらには活動時間の確保もしっかり図られていた。(大内南・6年ハードル走)
  - ・いろいろな手だてを準備されていて驚いた。学習カードなども非常に細部に渡るもので、私が実践しているものとは異なった。参考にしたい。(大内南・6年ハードル走)
  - ・どの授業も最初の取り組みが工夫されていてよいと思った。ボールゲームの作戦は、サッカーやバレーなどボールが動くものは難しいと思う。(大内南・無記入)
  - ・ハードルの選手を育てるためにこの単元があるわけではないので、本来のめあてを見失わないことが大切かもしれない。ハードル走を使って子どもの運動技能を育てる、習得(跳ぶ、走る、調整力、跳ぶと走るの連続運動、リズム感など)が大切ではないか。タイムがよくなることが目的でなく、上手に跳べるとタイムがよくなるのであって、ハードル走の特徴ある運動の習得が目的である。その意味で、ハードル独自のぬき足(横に上げる)の運動のために股関節の運動(柔軟性を高める)を事前にしてあったらどうか?ぬき足の練習ではなく、股関節の運動(最近の子どもは股関節が硬く横に開くことができない)これこそが習得すべき技能の一つではないか。ハードルを跳ぶ時にぬき足が縦になったり後ろにひく子が多かったように思う。タイムを縮めるというのは、技能を身に付けるため(あそこがよくてタイムがよくなった、ここが悪いのでタイムが悪かった)の明確な数字、数的表現にすぎないのでは?タイムを縮めるために何を修正、習得するかが大切?では、空中姿勢の作り方のために、上半身と下半身の動きを連動させるための運動としてスキップ・クロスステップ等の練習を事前に習得させておく必要があるしはないか。タイムの短縮ばかりが目になってしまうと、ハードル走に必要な基本的な運動の習得が置き去りにならないように。(大内南・6年ハードル走)
  - ・練習の場が様々に工夫され、課題解決のための手だてが至る所に考えられて配置してあり、場の設定を見ただけでも「間違いなくいい授業なんだろうな。」と思ったが、実際もその思いは変わらなかった。特に子どもたちが「どこをどうしたらよいのか」というポイントをよく分かっており、友だちのフォームを見て的確にアドバイスを送っている様子には感心した。その姿を見て、ここまでの1時間1時間の授業で子どもたちがしっかりその事も意識して活動してきたこともよく分かった。個人で練習するだけでは決して味わえない、体育学習ならではの友だちとのかかわりがあったと思う。(大内南・6年ハードル走)
  - ・場の工夫が大変参考になった。(大内南・2年表現、6年ハードル走)
  - ・どの授業にも場の設定の工夫が見られた。(大内南・6年ハードル走、大内・6年跳び箱)
  - ・場の設定、意欲付け、すべてよく工夫されていてすばらしいと思った。まるで附属小のようだった。体育の学習の仕方を積み重ねて学んでいるのだなと思った。準備にも無駄な動き、無駄話がなくスムーズで体育が楽しいから早くやりたいという高いレベルまで育っていた。きっと他教科にもよい影響を与えているんだろうと思う。自分のクラスでも取り入れられることはぜひ入れさせてもらおうと思った。大変参考になった。お疲れ様でした。(大内南・6年ハードル走、大内・6年跳び箱)
  - ・教具がなくても自分で作れそうなものがあり、そういう点で参考になった。(大内南・6年ハードル、大内・6年跳び箱)

#### 【主に大内小に関する記述】

- ・用具を操作する運動遊びでは、準備運動からBGMを流し、楽しそうにボールを使って活動していた。2つの活動では、運動が上手に行えるように先生が児童へアドバイスをされていて、役立っていたと思う。また、先生の指示をよく聞き活動していたが、ゲーム的な運動になると、指示とは違った動きが出ていた。ゲーム的に行うのは難しいと感じた。(大内・1年体づくり)
- ・1年の授業ではどの子も笑顔で楽しそうにボール運動に取り組み、運動量も十分でよかったと思う。(大内・1年体づくり)
- ・工夫された楽しい授業だった。一人ひとりにもよく配慮されていた。(大内・1年体づくり)
- ・1年の体づくりでは、子どもたちが楽しく体を動かす姿が見られた。音楽や道具など先生が場を工夫されていて、活動しやすいようにされていたのがとても勉強になった。(大内・1年体づくり)
- ・子どもの楽しい笑顔と運動量が豊富でよかったと思う。(大内・1年体づくり)
- ・子どもが様々な動きを体験し選ぶことで、運動の楽しさを感じていた。(大内・1年体づくり)
- ・1年生の体づくりについては、手だてがよくとられていて、1年生にもかかわらずよく指示が通っていたと感じた。(大内・1年体づくり)

- ・さすがに内容、場の設定等、大変よく準備されていた。低学年の発達段階にあった内容で、子どもたちもとても楽しそうに活動していた。(大内・1年体づくり)
- ・どの授業も教具を工夫されており、先生方が熱心に取り組んでおられたのが印象的だった。体づくり運動の授業では、子どもたちがボールの運動方法を工夫したりバリエーションのある動きを見つけて意欲的に取り組んでいた。(大内・1年体づくり、4年フックフット)
- ・どちらの授業も運動量が確保されていて、とても参考になった。児童が自分で考えて実施できる工夫があったので、動きがめあてやねらいに沿ったものとなっていた。(大内・1年体づくり、4年フックフット)
- ・どちらの授業も子どもたちの運動量がしっかり確保されていることが印象的だった。シンプルな指示で子どもたちがたくさん動き、子どもの活動を止めることなく教師が上手に介入したり、ほめたりアドバイスをするなどの声かけをされていて、大変参考になった。(大内・体づくり、4年フックフット)
- ・どちらの授業も子どもがいきいきと活動していた。(大内・1年体づくり、4年フックフット)
- ・教材づくりがとてもすばらしかった。(保健) 子どもの視点に立って身近な魅力ある教材開発がなされていたと思う。(大内・3年保健、6年保健)
- ・4年生の授業では、ゲーム形式の活動では子どもが勝負にこだわってしまうので、そこをどうするかが大切だと思った。ただフックフットボールについては、とてもおもしろい試みだと思うので、自分もやってみてみたいと思われた。(大内・4年フックフット)
- ・フックフットボールのフックをタオルで行っていたが、長さに個人差があり公平性に欠ける。本大会で行うのなら、フックを教具として購入した方がよい。ゲーム前の練習では、パスを多用しているチームが多かったが、いざゲームとなると走っていったのタッチダウンがほとんどだった。作戦・練習が生きていないのが残念だった。(大内・4年フックフット)
- ・複雑な動き(作戦)を子どもが話し合い実践していた。どの授業も子どもが主体的に動いていたように思った。
- ・どの子も楽しめるよう様々な工夫が見られた。作戦を立て、それを実行するためのめあての立て方、話し合い、練習の仕方などどれもとても参考になった。(大内・4年フックフット、5年サッカー)
- ・子どもたちが作戦を考えて次には勝つ、何点取る…そして全10時間をサッカーという構成だった。子どもたちはよく作戦を練っていたので、5時間ずつぐらいで切って、作戦を考え相談し合い…という経験をさせるために、ほかのスポーツにふれさせる手もあると感じた。(大内・5年サッカー)
- ・6年の授業では、子ども同士でアドバイス、話し合いながらいろいろな場で開脚、閉脚、台上前転、頭はねおきの運動に熱心に取り組んでいた。(大内・6年跳び箱)
- ・教具に工夫がされていて、子どもの意欲付けに役立っていたと思う。子ども一人ひとりが自分の課題を持って活動していた。(大内・6年跳び箱)
- ・練習(修行)の場と実践の場があって、子どもたち全員が自分なりに活動に励んでいた。(大内・6年跳び箱)
- ・子どもが多くの場合に個々のめあてを持って活動する授業を見せていただいた。評価→子ども同士がするにしても、より明確な基準があるのではないかな。子どもの運動・技能面から…マット運動の回転系も含めた低学年からの系列を子ども一人ひとりにさらに押さえるとよいと思う。特に「大きな前転」をきちんと押さえることが大切だと思う。安全面…場が多くなるとどうしても指導者の目が届かなくなる。作った場が子どもたちだけに任せて本当に安全かなどいろいろな角度から検討することがいると思う。(大内・6年跳び箱)
- ・跳び箱運動では場の工夫がなされ、自己の目標(技の完成)の解決のため自らが場を選択し他者と関わり合いながら主体的に授業に臨む子どもたちの姿がすばらしかった。(大内・6年跳び箱)
- ・どちらの学年も体育授業の楽しさに支えられ、子どもたちが高い意識で学習していると感じた。特に、6年生は自分たちで課題を明確に持ち、場を選択したり仲間と言葉をかけ合ったりしている姿を見て、私のこれから目指す姿だと思った。そのための先生方の指導、準備の過程を感じることができ、有意義な時間だった。(大内・1年体づくり、6年跳び箱)
- ・保健の授業としても大変参考になったが、それだけでなく、言語活動のあり方、資料の活用のさせ方など、他教科の授業でも生かせるヒントをいただくことができた。(大内・6年保健)
- ・自分の健康と、モデルの健康の関係性(関連性)が薄いと感じた。子どもたち一人ひとりが、自分の健康についての意識があったか疑問であった。話し合い活動→子ども同士のかかわり合いがどうであったか?(大内・3年と6年の保健)
- ・子どもたちが学習内容をより身近にとらえられるように、映像・音声などの資料を効果的に活用されておられたと思う。地域の保健活動の活用についてアドバイスという形をとられたことで、地域の保健活動のよさを第三者に伝えるために、より真剣に考えることにつながったと思う。(大内・6年保健)

## (2) 発表分科会について

### 【体づくり運動（低・中）】

- ・よく研究された発表で、内容のある分科会だった。
- ・実践がとてもよかった。すぐに学校で使っていきたい。
- ・目的意識を持たせることの大切さを意識できた。
- ・紀村先生の実践をお聞きして、子どもたちの遊びの工夫を引き出すような実践を私も行ってみたいと思った。
- ・1年生でも子どもの意欲を大切にしたい授業ができると思った。自由にやらせてみる（約束を決めておいて普段の子どもとの人間関係を前提として）ことが大切と思った。
- ・体づくり運動の実践を通して、運動の多様性を生かした取り組みを勉強することができた。
- ・1年生の実践を例に提案され、低学年の体づくり運動についていろいろと知ることができた。なかなか何をすればよいのか分からない体づくり運動をこれからしっかりと学んでいきたい。
- ・長年にわたる研究成果が生きた発表であり、自分自身も実践していこうと思える発表だった。大変勉強になった。
- ・教師から示すのではなく、子どもたちの意見や願いを引き出し、そこから工夫していくことの重要性を改めて感じた。
- ・低学年ということで、入り口と出口はいつも悩むところである。レーダーチャートを使うということも取り組むための一つの方法と思った。また、各学年との関わりも考えていかなければいけないので、やはり学校全体で取り組む必要があると思う。来週、市教研があるということで頑張ってください。子どもの発想を生かして授業を組み立てていく方法はすばらしいと思う。
- ・分かりやすくよかった。

### 【?体づくり運動のどちらか】

- ・動画を活用した発表であると、より参加者の意欲を引き出すことができると思った。

### 【体づくり運動（高）】

- ・日常の遊びの中から自分の体力を実感し、いろいろな動きに取り組みながら、自分に必要だと思う体力を高めていき、日常の生活でも自分の体力に目を向けられるようになり、将来にわたって運動に取り組む意識が持てるようになると思う。
- ・伝承遊びを使った体づくり運動への意欲付けは大変興味深いものだった。子どもが実感をともなうための手だても仕組まれており、今後参考にしていきたい。
- ・斬新な取り組みで、とても興味深いと思った。
- ・伝承遊びから自分の体力分析をし、実感を持つところがとてもよかった。
- ・六むしの伝承遊びをもとに高学年の体づくり運動を仕組み、子どもの実感をもとに、生活の中に体力を高める運動を遊びとして反映していく取り組みは、とてもすばらしいと思った。
- ・教師がすべてを与えるのではなく、自由に楽しんで動きつくりをできる発問をされていること、とても勉強になった。
- ・発表者の加藤先生ご自身のテーマの把握、課題設定、そして日常化での伝承遊び、レーダーチャート、7つの運動、レーダーチャート、考察という一連の流れが十分に整理されているなという感じを受けた。レーダーチャートの各要素が各シート間で相関性があるようにされると、より見やすいかなと思った。〈実感〉体験ービジュアル化ー課題把握←いいと思った。(楽しい中で)
- ・どの先生も熱心に研究をされていて、とても刺激を受けた。ありがとうございました。
- ・日頃の生活（遊び）の中での自分の体力を自己評価し、それを体づくり運動の授業の中へ生かされているのはすばらしいと思った。授業が日頃の生活にどう生かされているかも分かると、もっとよかった。
- ・とても興味がわく内容だった。高学年ということで、子どもが自己を分析し、自分たちで方法を考え、そして実行していくという子ども主導の内容が勉強になった。
- ・西川先生の指導助言がとてもよかった。
- ・目的意識を明確に持ち、それを達成しうる場があれば、子どもたちは進んで学ぶと朝の授業でも学ばせていただいたが、それをさらに強く実感した。遊びを通して、自分の体力課題に気付くこと、場の設定によって自分に必要な運動を選択できるようにすること、全て子どもの意識で考えられており、勉強になった。

### 【器械・器具を使った運動遊び】

- ・2年を担任しているので、今後の授業づくりに生かしたいと思う。

- ・若手の先生方を鍛えて、どんどん伸ばしていただきたいと思う。
- ・ヒーローと怪人の話に重きをおきすぎ？ではないか。いまいち分からない。単元の流れも紙の資料にはない。でも子どもはとても楽しかったのではないかと思う。指導助言の先生のお話がよかった。
- ・少し分かりにくかったというか、冗漫な部分もあったように感じた。

### 【器械運動】

- ・運動の系統性の大切さと子どもたちの活動の見とりの在り方について、参考になった。
- ・「オリンピック候補選手」という人材とのやりとりを生かした指導法は地域の人材を生かす今の学校に取り組みにも通じるものであり、参考になった。ただ、その人材を使ったことによさ「技を見る視点」を子どもにどのようにつけていくかが、「動きのポイントを見つけ合いながら」という主題に迫るものになると思うので、そのあたりについての研究がなされるとよいと思う。また指導助言者の持ち時間が大変短くなってしまい残念だった。よいお話をされていたので、もっと長時間聴いてみたかった。
- ・プロの存在の利用は良いが、なかなか難しい。地域の人材の発掘が必要だと思った。

### 【走・跳の運動】

- ・授業公開と違い、実践発表では指導や成果が見えにくいところがあるので、みんなが（授業者）感じる課題をいかに明確にし、どのように取り組んでいったかを視点の全面に出せるとよい。
- ・低学年の児童にきまりを守って仲良く活動させることや、競走を意識させることの難しさと、そのための場やルールの工夫について有効な取り組み事例を紹介され、大変分かりやすかった。

### 【陸上運動】

- ・公開授業の内容と通ずるところが多くあり、とても勉強になった。多くの先生方の意見にふれられて良い経験になった。
- ・授業研究会と発表分科会とが同じハードル実践で同じところや違いを含め、大変勉強になった。
- ・遅延再生ソフト、体育館の活用など、参考になる取り組みが多々あった。これらの取り組みが子ども一人ひとりの課題解決につながっており、それが子どもの表情に反映されていた。
- ・同じ支部で発表にも少し関わってきた。予想はしていたが、やはりあまり参加していただいた方からの質問・感想がなかったので、つい自ら長い時間しゃべってしまっていて反省している。もし来年の大会でも同じような状況になることが予想されるのなら、もっとおそろくいろいろな意見が出たであろう授業研究会の時間を 60 分→ 80 分とし、発表分科会の時間を 60 分→ 40 分（あくまで目安ですが…）としてみたらどうだろうか。やはり研究大会は「その日の生の授業」こそが命であると思う。
- ・梶田先生、これまでのご準備、大変お疲れ様でした。陸上運動の授業づくり、場作り等、勉強させていただくところばかりだった。

### 【ゲーム】

- ・実際に自分の授業にも取り入れてみたい。系統のつながりの重要性を感じた。
- ・ソフトバレーボールの前段階としてキャッチ&パス・アタックゲームの実践提案であったが、非常にルールもわかりやすく、技能的にも「はじく」前段階としてキャッチ・パスを取り入れたことは低位の子どもにも抵抗なく取り組めたのではないかと思う。バレーボール人気が少しでも高まるといいなと期待している。

### 【ボール運動】

- ・バスケットボール、サッカーともにボールを扱うこの領域は、能力差や得点に至るまでの過程を楽しむまでに子どもたちを高めていくことは大変難しい。その点をバスケットボール、サッカーともにトランディションという攻防の速さに目をつけたり、スペースという点に視点を絞ることで、子どもたちを楽しさ（ボール運動の）を高めていたところが大変勉強になった。
- ・作戦を立てる必要感がないと、工夫した作戦は立てられないだろうし、楽しさも深まらないと感じた。子どもたちがつくりあげる授業を考えなければならないと思った。

### 【水泳】

- ・ラッコ浮きの良さについてとても勉強になった。浮くことの大事さとそのように子どもに浮いてほしいという願いがとても伝わってきた。とてもおもしろい実践だったと思う。
- ・よくまとめられていた。
- ・発表者控え室にコンセントがあるとプレゼンの微調整ができてよかった。

- ・よく計画され、実践をまとめられた内容であった。
- ・次年度へ向けて本当に実りある意見をいただき、参考となった。「プレ大会」として充実した時間となった。

### 【表現運動】

- ・いきいきとした低学年の表現運動だった。1年生にも、やはり動きと学びの高まりがあると思った。
- ・やるたびに表現は難しいと感じている。今日、教えていただいたことを自分の授業に生かしていこうと思う。
- ・よい動きを引き出すために「教師の声かけ」が必要ということで、ポイントを絞って協議ができ、次への実践に生かしていきたいと思った。(声かけの種類についても整理されており、分かりやすかった。)
- ・どのような声かけが必要かを学ぶことができてよかった。
- ・活発な意見交換ができ、とても参考になった。
- ・子どもが楽しく表現している様子を発表で聞き、自らの実践の中で表現運動に進んで取り組むことができる工夫について多く考えることができた。
- ・実践の内容を具体的に示され考えやすかった。(授業の動画や振り返りシート、子どもたちの手記)最後に指導助言は大変ありがたいが、今回は協議の途中でも助言をいただいた。それが深まりにつながっていたと思う。(話しすぎや結論にふれるのではなく。)

### 【保健】

- ・これまであまり研修をしてこなかったもので、今日教えていただいたことは、どの内容もとても新鮮だった。今後授業をしていく上で、生かしていきたいと思う。
- ・来年度の発表に向けて、これからの活動・準備の参考になった。
- ・子どもが書いた振り返りカードなどを提示することで、子どもが自己の変容を実感する具体的な姿が見えてくると参観される先生方も納得されるのではないかと感じた。

## (3) その他(研究の取り組みや運営面、会場設営等について)

- ・公開授業、授業研究会、発表分科会などスムーズに運営され、快適に参加することができた。ありがとうございました。
- ・これまでの研究の成果がよく表れていた授業を見せていただき、大変参考になった。研究要項(指導案集)に1時間目・2時間目・等の間仕切りのページがあると、指導案が探しやすかったと思う。(自分で探せばよいのですが。)
- ・今回プレ大会を行うことで、授業者も発表者もより課題が明確にでき、さらにステップアップした研究大会になると思う。ただ、例年陸上記録会が各支部で行われる時期なので、来年の本大会の日程を明示されるとよいと思う。(各校の諸行事との関連もあるので。来年10月の日程・行事が決まりつつある。)
- ・久しぶりの楽しく学びのある研究会だった。ありがとうございました。また来年もよろしく申し上げます。
- ・今日これだけの大きな発表が、市の研究会などではなく学校独自で、さらに授業においては学年だけでなされたということをお聞きして驚いている。今日までの先生方のご苦勞を思うと本当に頭が下がる。たくさんの方の事を学ばせてもらい、早速来週から使わせていただこうというものもあった。貴重なすばらしい授業をありがとうございました。
- ・会場校として場と授業提供をしてくださりありがとうございました。地図、校内図などよく準備されていて、初めて来た私にもとてもよく分かった。大変有意義な時間を過ごすことができた。来週からの実践に生かしていきたいと思う。
- ・「楽しい」から「もっと楽しい」の「もっと」の部分の分かりやすくご提案いただくと参考になる。個々の技、意欲・態度、集団でさらに高め合う等々あると思うが、個人的には体育科なので「技」の達成感がさらに高まる「もっと」を強調するといいかと思う。
- ・学級経営を基盤にしてはじめて成り立つのが体育であり、楽しい授業を目指して研究していきたいと考えている。
- ・研究の成果をまとめ、本にまとめるとき、領域ごとの冊子にすると活用しやすいのではないかと。イラストや写真など入れて。(厚い冊子は読む前にくじけてしまう。)
- ・スムーズな日程で良かったと思う。
- ・今日はありがとうございました。私自身の実践に役立つものばかりだった。
- ・授業改善のヒントをたくさんいただいた。ありがとうございました。
- ・今日一日を通して、体育を追求する楽しさを味わえた。ありがとうございました。
- ・大変お世話になりました。来年のご盛會を祈念しています。

- ・たくさんの資料をいただきありがとうございました。参考にさせていただきます。
- ・指導案など、素晴らしい資料をいただいた。今後の自分の体育授業で生かしていきたい。
- ・運営にあたられている先生方、お疲れ様でした。
- ・授業研究会や発表分科会の協議であまり意見が出なければ、指導助言者の方にしっかり時間を与えるようにしたらよいのではと思った。
- ・「もっと楽しい体育」「保健学習」に対して、それぞれの学校が、また山口県としてどのように考え、研究を進めてきたか…の資料（研究紀要）がなかったのがとても残念であった。これがないので、意見が言いにくい。授業研究と発表分科会を今日やったのが、どうであったか？授業研究だけでよかったのではないか。
- ・講話の会場を要項に書いていないのは不親切だと思った。放送も階段にいと聞こえなかった。（私の見落としでしたら、申し訳ありません。）
- ・会場間の移動が少し大変だと思った。
- ・とてもすばらしくよかった。 ・大変勉強になった。ありがとうございました。（3）
- ・いろいろな面でよかったと思う。 ・ご準備等、大変だったと思う。お疲れ様でした。
- ・とてもスムーズな運営だった。感謝している。本当にありがとうございました。
- ・お疲れ様でした。参加させていただき、ありがとうございました。
- ・弁当の販売が分かりにくかった。受付と同じ所で支払いをするとよい。
- ・弁当購入についての案内が放送でほしかった。
- ・資料が大変多かったの、資料入れの袋があればと感じた。
- ・トイレの案内表示があると助かる。
- ・昼食教室の児童の帰校時刻は、もう少し早いほうがよいかもしれない。
- ・会場で特に2階への行き方がよく分からなかった。玄関に会場図以外に行き方が分かる看板があるとよい。
- ・受付や弁当など分かりにくいところがあった。
- ・駐車場があると助かる。運動場での授業を参観したが、みな荷物を持ちながら見ていた。貴重品は自分で管理するとして、靴くらいは置く場所があると助かると思う。
- ・2校間の移動は徒歩となっているが、雨天のことなど想定するとかなり時間がかかるであろう。
- ・女性目線で運営することの必要性 ○湯茶の用意（せめて体育館に） ○清潔感のある会場 ○旅費は手渡しで行う。
- ・分科会の活性化…会場責任者も教室の中へ。質問する人を増やす。
- ・参観者の昼食会場が不明瞭、少し時間が長い。
- ・昼食会場が1・2階教室となっていたが、教室に児童がいたり、授業研究会の会場準備で食べることができなかった。
- ・お昼の休憩時、弁当を講堂（運動場前）で食べる姿が目立った。お昼のとり方を考えられてはどうだろうか。見苦しかった。
- ・資料がバラバラとあり扱いにくかった。きれいな学校、行き届いた清掃で気持ちがよかった。お世話になりました。

## 山口大会プレ大会の反省（運営役員：山口支部、防府支部）

### ①前日準備について

- ・担当の方の指示も十分詳しくあったので、動きやすかったです。前日の机・椅子を運ぶ作業については人数は十分すぎたと思います。
- ・会場校の先生方が事前に準備されていたため、大変早く終わった。ただ、会場校は授業があるので、やはり会場校に甘えるのではなく、その前に動く必要がある。
- ・大内・大内南小の先生が準備をされており、大変助かりました。

### ②担当された役割について

- ・分科会の記録でした。分科会のまとめの様式をいただいたが、わかりにくかったので、大庭先生に確認しました。
- ・発表分科会の担当欄に、記録係の名前があると分かりやすいです。
- ・記録担当でしたが、依頼文書に当日の仕事内容をある程度書いておいていただけると幸いです。「記録をお願いします。」という趣旨の内容の文しかなかったので、何にどう記録するのか当日まで少し不安でした。
- ・司会進行例のプリントもあり、スムーズに進行できたと思います。
- ・授業研究会は質疑や意見も出やすかったようですが、発表分科会は多少、少なく感じました。概要だけでなく、参加者が理解しやすい具体的な資料（学習カードや児童の声等）がもっと必要ではないかと感じました。
- ・大内南小体育館・5年ワークスペースで講話準備（演台・椅子）、会終了後の片付けの役割でした。人数も充分で特に問題点は感じませんでした。
- ・教室担当でしたが、掲示物などの準備もされていて、良かったです。
- ・大内小で受付を担当したが、当日資料の配付の仕方が課題となった。受付時間前に、役員で当日資料を草取りしておいてから受付で手渡したが、かなり忙しかった。山口大会当日は到底無理である。当日資料は、各会場で机を用意して置いておき、会員に取ってもらうようにする方がよい。
- ・大内小の受付を担当させていただきましたが、みなさんの協力により滞りなく行うことができました。
- ・大内小にて、配付資料の草取りをしました。みなさん素早い動きで完了しました。
- ・午後からは、急遽ゲーム運動の会場作りと片付けを担当しました。会場図があり、わかりやすく書いてあり、初めてでも作りやすかったです。最後の片付けもみなさんの動きに負けず手伝えることができました。
- ・掲示物や配置図もきちんと用意してあり、打ち合わせ通り時間にあわせて活動することができた。片付けもスムーズに行えたと思う。

### ③その他

- ・全体的によく流れていたと思います。大内小は受付の場所が分かりにくかったです。
- ・子どもたちも先生方もよく頑張っておられて授業がとてもよかったです。参考になりました。体育だけに天候によってずいぶん左右されるので、天気が悪いと参観授業が少なくなるのでどうなのかなど思いました。
- ・役員の方々には表に出ないご苦労がたくさんあったことと思います。お疲れ様でした・・・が、今からまだまだ続くんですね・・・。
- ・プレ大会といえども、本番さながらのよい研究会であったと思います。
- ・事前の打ち合わせから準備等、大変ご心配でした。
- ・本大会でも協力させていただきます。お疲れ様でした。
- ・授業後や研究協議後の放送開始が早すぎて、授業のまとめをしている時の子どもの声が聞こえませんでした。せめて、5分ぐらいは空けてほしいと思いました。
- ・大内小玄関に張ってあった会場図を見て思ったが、会場図と実際の会場の方角がずれていたのを見にくかった。現在地から同じ向きになるようにしたい。